

V. 緊急時の対応

4. 骨折・側弯症

4. 骨折・側弯症

骨折

目的

骨折とは、骨に外力が加わることによって、構造が破綻した状態です。完全に折れている場合やへこんでいる程度のものもあります。完全に折れるとグラグラ動くことで断片が周囲に突き刺さるため強い痛みを伴います。また骨では血が作られているため、構造が破綻すると周囲に血が広がり、腫れを伴い痛みの原因になります。痛みを早く取り除くことが骨折治療の目的になります。

基礎知識

骨折しやすい部位は、下肢が約8割です。内訳は大腿骨が多く（48%）、脛骨（27%）、上腕骨（8%）、足部（7%）です。特に大腿骨遠位部（24%）、脛骨近位部（12%）と膝周囲に骨折が集中しています。受傷帰転は転落や移乗時などの事故もありますが、多くの場合は不明です。発見するきっかけとしては疼痛を訴える場合もありますが、入浴介助時などに骨折した箇所が腫れて見つかることもあります。

対象

上肢・下肢などを普段と同じように動かした時に、痛がって泣いたり表情が険しくなる場合は骨折を疑ってください。また局所が腫れたり内出血を認める場合は骨折が疑われます。骨折を疑う場合はレントゲンをとる必要があるため、整形外科を受診してください。

4. 骨折・側弯症

骨折

方法

骨折が疑わしい場合には、患部（骨折の部位）を動かさないようにすることが基本です。反応を見て、痛みが比較的軽減するような肢位（手足の位置・姿勢）に保ち固定するように心がけて下さい。移送までの間は丸めたタオルや枕を使って患部を固定すると良いでしょう。添え木になるものがあれば、患部の固定に有効ですが、患部の近くの両端の関節（骨折を疑い骨の両端の関節）の動きも固定できれば効果的です。

基本的にはギプス固定による治療となりますが、骨折の部位・折れ方や年齢により手術が必要となる場合があります。受傷前の運動レベルによってもゴールが異なるため、手術療法か保存療法なのかなど、どのような治療を行うかは医師と十分に相談するようにしてください。

注意点

血管や神経を損傷することはまれですが、骨折を疑う部位よりも末梢（先端部分）の皮膚の色が反対側に比べて悪い場合は、早急に医療機関に搬送する必要があります。また、骨折部位の断端が皮膚から突き抜けてる場合は治療を急ぐ必要があるため、救急隊と相談するようにしてください。

4. 骨折・側弯症

側弯症

目的

側弯は、脊柱を正面から見た場合に左右に歪む状態です。10度以上曲がっているのが側弯症です。前後に歪む後弯・前弯を伴うこともあります。

基礎知識

重症児において側弯症を合併する頻度は高いとされています。特に、痙性が強い四肢麻痺が存在するため坐位が保持しにくい例、10才以下の低年齢から出現例などの場合は側弯が進行する危険性が高いとされています。側弯が進行すると、その影響で呼吸や循環機能の低下を引き起こすことがあります。

対象

歩行不能例では側弯発症率が高いため、定期的な検査が必要となります。脳性麻痺の場合は一般的には7才頃より側弯が出現し、成長期になると急激に進行します。

4. 骨折・側弯症

側弯症

方法

外観で気付くこともあるので、入浴介助の際に肩甲骨の左右差や背中の中の形を見ることや、坐位姿勢を気に掛けるようにしてください。成長期（12才前後）には脊柱のレントゲンをとるようにしてください。

側弯の進行例に対しては、プレーリーくんなどの側弯症装具やリハビリテーションで坐位姿勢の改善を目指す必要があります。側弯が急速に進行する前に、手術的治療を必要とする場合がありますので、整形外科専門医の定期的な検診を受ける必要があります。



側弯矯正装具
(動的脊椎装具・愛称プレーリーくん®)

筋神経疾患による側弯変形に対する保存療法として南大阪小児リハビリテーション病院で2007年に開発されました。

これまで脳性まひ児の脊柱側弯変形に対する装具療法は、効果が少ない上に装着が困難で、殆ど不可能とされていました。これまでの装具は強力で、他動的な矯正とそれを固定するという静的構造だったのを、緩やかなしかし持続する、自律的な矯正を目指す動的構造に変えました。こうして新しい装具、「Dynamic Spinal Brace 動的脊柱装具(愛称プレーリーくん)」が誕生しました。

注意点

はっきりしたことがわかっていない点もありますが、長時間の同じ姿勢を避けることは、褥瘡の予防や筋緊張のバランスを少しでも改善する効果はあるでしょう。また視力の左右差も姿勢の悪さの一因となるため、眼科で相談してみてください。



医療用装具
側弯矯正装具
プレーリーくん®

社会福祉法人愛徳福祉会
大阪発達総合療育センター
南大阪小児リハビリテーション病院

<https://prairie-kun.osaka-drc.jp/index.html> より